



シルバー通信

第53号 (2023年度)

発行：大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会

連絡先 (事務所)：〒536-0002

大阪市城東区今福東1丁目 8-15-308

TEL：080-3040-6336

ホームページ URL <http://sa-renkyo.sakura.ne.jp>



ご挨拶

大阪府 シルバーアドバイザー連絡協議会
理事長 村松 秀明 (大阪市SA 平成29年)

会員各位におかれましては平素から大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会 (以下府SA連協) の活動に、ご尽力頂きまして誠にありがとうございます。先般5月11日に2023年度の総会を終え、新しい年の活動が始動致しました。それぞれの地区SAの活動方針も出そろい動き出されている事と思います。その中で府SA連協として特に以下の取り組みを進めていきたいと思ひます。

- 1, 同じ目的を持った大阪区民カレッジ、大阪府民カレッジとの共創活動を進めて行きます。特に府民カレッジの総会の席上、泉川理事長から府SA連協との共創について会員の皆様に方針として発表されました。今年度は是非一層の結びつき強化をはかっていきたいと思ひます。また高齢者大学校の子ども事業グループとも積極的にコラボ活動を進めて行きます。
- 2, 行政との連携という意味で大阪府からは地域社協の生活支援コーディネーターとのタイアップ提案を頂いております。本年度は、その提案に基づき動いていきたいと思ひます。
- 3, 福祉部を立ち上げ、その活動初年度です。是非皆様の積極的な関わりをお願い致します。
- 4, 万博共創チャレンジ「幸せの星プロジェクト」2年目となります。2025年の万博に向けて一層の盛り上げを図って行きましょう。以下はその関連情報です

【幸せの星プロジェクト関連について】



大阪観光局、溝畑局長と万博共創チャレンジ関連で大阪の活性化の為にシニアができる事について面談しました。万博にむかって、できる事を模索していきたいと思ひます。

この写真は面談後にわざわざ衣装を着て頂き、撮らせて頂いた写真です。溝畑局長はYouTubeなども積極的に発信されております。是非大阪観光局を検索頂き内容を見て下さい。

◆令和4年度活動報告◆ (2022年4月1日～2023年3月31日)

◇1-運営全般◇

- (1) 月に1回の役員会・理事会・理事会前のセミナーの開催が一番重要な業務であり、その内容を如何に有益なものするか工夫し開催した。
- (2) 行政機関・関係団体との関係強化という点では不十分な結果であった。
高大、ONCC、区民カレッジ、府民カレッジそれぞれの動きと地区SAの連携が不十分であった。これは本部の働きかけの不足であり今後解決すべき課題という認識です。
また大阪府をはじめとする行政機関、社協との関係も地区によりばらつきもあり今後の改善目標としたい。
- (3) 新規会員増の取組について
府SA連協全18地区SAの現状から加入が3団体(SA ネット大阪、SA 四條畷、SA 似顔絵友の会)退会が2団体(SA 箕面・豊能、SA とよの里唄の会)となった。今後新規に立ち上げる会に対し応援し加入団体を増やしていきたい。またSA地区会のそれぞれの会員増に対する取り組みは、成功モデル事例を他のSAで実施できる体制をつくる。
- (4) ブロック交流会の開催
おもちゃ部会、歌体操部会それぞれが3ブロックで交流会を開催した。日頃の成果の発表とブロック内の交流とその目的に沿って開催できた。
- (5) イベント等への参画について
ATC子どもエクスポへの参加やアーバンツーリズム大阪・船場が主導する船場祭りや北御堂イベントが定例化し、おもちゃ部会の活性化に繋がるイベントとなった。
- (6) 渉外活動について
新鞍前理事長に作って頂いたイベントでのコラボ団体・協賛企業・団体との関係維持に努めた。
- (7) 万博共創チャレンジについて
2025年大阪・関西万博の機運醸成活動として「幸せの星」プロジェクトを開始し継続中。



1-2 会議の開催状況 定例会

役員会	毎月1回	原則第1木曜日 10:30～12:00	開催 (12回実施)
理事会	毎月1回	原則第1木曜日 14:00～15:00	開催 (12回実施)
セミナー	毎月1回	理事会日 13:00～14:00	開催 (12回実施)
ブロック別会議	年6回	偶数月の理事会の日 15:00	開催 (6回実施)
各部門会	年6回	奇数月の理事会の日 15:00	開催 (6回実施)
ビジョン委員会 (オンライン)	毎月1回	理事会の前日 20:00～21:00	(7回実施)

◆各部門・部会の活動報告◆

◇2-渉外部◇

手塚 之博 (SA吹田 平成29年)

2-渉外部

コロナ禍も3年、2022年度もコロナが社会に大きな影響を与えた1年だった。その中で渉外部は将来のSAを担う人的交流を図ることを目的として「SAビジョン委員会」を立ち上げZoomでの8回に亘る会合を行った。その成果として「福祉部」発足につながった。府SA連協の活動の幅を拡げられるような取り組みに期待したい。

また今年度から監査をお願いしている府民カレッジ泉川理事長のご配慮で府民カレッジ新人ディレクター研修にSAへの理解教育を織り込むことが出来た。

行政との関係づくりでは特に成果となる活動は出来なかった。

【活動報告】

1. コーダイフェスタは2年ぶりに開催されたが曜日別開催となりSAは参画出来なかった。
2. 高大グループへの会員募集説明会は中止されたが校友会パンフレットが更新された。
3. ONCC SA交流会は開催され池田、箕面・豊能、吹田の各SAが参加した。
4. 大阪マラソンへのボランティア参加 健康管理部会、吹田、茨木、藤井寺の各地区会より各1チームの計4チームが参加した。



2-1 健康管理部会

笠原俊生 (大阪市SA 平成30年)

◇フル予防 (健康寿命延伸) 啓発の普及活動

1. 今年度はコロナ禍の3年目にあたり、活動自粛があり調整に苦慮した1年であった。その中で大阪府民・区民カレッジをはじめ ONCC・各種団体を通じて「フル予防啓発講座」を延べ18回(662名)の開催ができました。併せてSA連協の活動内容紹介をおこないました。また、泉南郡熊取町で初めて「早寝早起き朝ごはん」の食育講演プレゼンを行いました。
2. 講師/フル予防啓発サポーターの活動能力のレベルアップ
現在は、6名の講師で啓発活動をしております。
3. 外部関係機関と連携し、SA活動の紹介と予防講座の広報活動、各種団体等を通じて、SA活動紹介及び健康寿命の延伸について予防啓発の広報活動を行ないました。また、関連団体と連携を深め情報収集に努めました。

[年間の活動実績：2022年4月～2023年3月]

No.	開催先	開催数	出前講座の開催団体					参加人数
1	区民カレッジ (7レール講座)	7	城東校 (43) 西校 (38)	みなと校 (45)	東成校 (33)	北校 (40) (42)	中央校 (42)	283名
2	府民カレッジ (7レール講座)	2	大東学研 都市校 (26)	豊能校 (31)				57名
3	ONCC (7レール講座)	1	ぶらっと散策：吹田 (36)					36名
4	府SA 連協 (7レール講座)	1	理事会 (23)					23名
5	各種団体	6	豊中市民健康展 (160)、豊中市南丘校区福祉委員会3 (44) 西淀川区役所保健福祉センター (18)、大阪マラソン (11)					233名
6	熊取町 (食育講演)	1	泉南郡熊取町プレ食育講演 「早寝早起き朝ごはん」(30)					30名
	合計	18	() は当日会場の参加総人数					662名

2-2 国際交流部会

村松 秀明(大阪市SA 平成29年)

現在活動を行なっているSA ネット大阪、SA 吹田の活動を他の地区 SA にも広げていく提案を行ない、大阪府在住の留学生との交流活動を通しての多文化交流活動、海外で日本語を学ぶ若者達とのオンライン交流活動等、日本語での交流活動を進めていく計画を立てたが、府SA 連協としての活動まで広げることが出来なかった。

◇3 交流活動部◇

3 交流活動部

下田 英二 (SA 箕面豊能 平成21年)

各部会とも十分なコロナ感染対策を行いメンバーの協力で多くの活動ができた、歌体操部会・おもちゃ部会では各1回開催を中止した。

また ブロック交流会では歌体操・おもちゃ交流会は各ブロック特色のある研修会となった。

歌体操部会では2023歌体操フェスタは歌体操部会と担当ブロック(中ブロック)のご努力で無事終了しました。

おもちゃ部会ではATC「親と子どものおもちゃ教室」・船場まつりに参加し、新しく「わくわくキッズパーク@北御堂」にも参加した。

各地区SAでのボランティア活動は新型コロナウイルスの影響で自粛していたが、今年度施設訪問やイベント参加などの活動が始まった。

次年度は歌体操やおもちゃに加え新しい活動を検討する時期に来ていると思われる。

3-1 歌体操部会

梶山良子（大阪市SA平成11年）

※部会員報告：17名⇒21名（中ブロック：8名、南ブロック：7名、北ブロック：6名）

・6月より4名部会員の入会があった（2022年度）

【活動報告】

1 新型コロナウイルス感染防止対策として5月部会より収容人数の多い部屋に変更し実施した、また第7波の影響で8月部会は中止とするも感染防止対策を充分に行い部会を実施した。4月部会より新しい体制でスタートし、情報の共有と充実した研修ができた。ブロック研修交流会、2023フェスタなど計画していたイベントも担当ブロックや部会員の努力で、充実したイベントを実施することが出来た。

2 歌体操部会（定例会）

・第4月曜日 午前10時～12時 大阪市生涯学習センターで連絡事項報告、情報交換と実技研修で月1回実施した。

令和4年月/日	4/25	5/23	6/27	7/25	8/22	9/26	10/24	11/28	12/26
参加人数（名）	21	21	20	19	中止	19	21	21	21
令和5年月/日	1/23	2/27	3/27						
参加人数（名）	20	21	21						

3 歌体操ブロック研修交流会

・地域の親睦と活性化を図るため各地区ブロック交流会を実施した。

ブロック名	令和4年実施月/日	場 所	参加人数（名）
北ブロック	11月8日（火）	茨木市福祉文化会館	約90名
南ブロック	10月17日（月）	和泉人権文化センター	約100名
中ブロック	10月19日（水）	大阪市東成区民センター	約90名

4 歌体操イベント

イベント名	実施年月日	場 所	参加人数
2023 S連協歌体操フェスタ	2023/3/6（月）	大阪市東成区民センター	約330名



3-2 おもちゃ部会

島田 道子 (SA 守口 平成14年)

【活動報告】

今年度は年6回(偶数月 第2火曜日 1:30~)開催が、コロナウィルスの為8月開催が中止になった。ブロック別おもちゃ交流会は、各ブロック特色ある研修会になった。

またおもちゃ部会として従来から参加していた、ATC「親と子どものおもちゃ教室」・船場まつりに参加し、新しく「わくわくキッズパーク@北御堂」にも参加した。

*おもちゃ部会運営内容

開催/ 偶数月 第2火曜日 1:30~3:30

会場/ 大阪市中央区民センター

役員/ 書記 中ブロック長 野口 紀子(大東の会)

会計 北ブロック長 山下 由起(SA 箕面・豊能)

会計 南ブロック長 千種 長子(SA 藤井寺)

講師/ ブロック(北・中・南)ごとに講師を担当

会費/ 1回 200円

*おもちゃ部会開催状況

開催月日	場所	おもちゃ	講師	参加人数
2022年4月12日	中央区民センター	ホーバークラフト	井上氏	16名
6月14日	↑	風車	島田氏	18名
8月9日	↑	中止		
10月4日	↑	キツツキ	小柴氏	17名
12月6日	↑	折紙のうさぎ、アクロバットホース	藤井氏	14名
2023年2月14日	↑	鬼パクン	小柴氏	19名

*ブロック別おもちゃ交流研修会

ブロック	開催日	開催場所	主催	参加人数
北ブロック	2022年11月25日	吹田市夢つながり未来館	SA吹田	11名
中ブロック	2022年10月28日	住道アクロス	大東・交野連絡会	24名
南ブロック	2023年1月21日	千代田公民館	SA河内長野	26名



◇広報部◇

大川 正彦 (SA藤井寺平成18年)

4 広報部

【活動目的】

1. 府SA連協と地区SAの架け橋となる広報活動を目指す。
2. 地域でのSA活動の知名度（認知度）の向上を目指す。
3. 関係団体との関係強化のツールとなる広報を目指す。
4. ホームページ、ブログなどネットでの広域活動、助成金情報などの共有化を目指す。
5. 新SAあり方委員会プロジェクト参加。

【活動報告】

1. 新SAあり方委員会（2021,8月より～2022,3月）オンライン（ZOOM会議）で、渉外グループ、交流活動グループ、広報グループと連携活動行い、2022,4,7新SAありかた委員会最終報告会実施参加。
*未解決課題についてはグループ毎、アクションプラン継続取り組む。
2. 広報誌部会下記。
3. ブログ研究部会下記。
4. ホームページ管理部会下記。

4-1 広報誌部会

大川 正彦 (SA藤井寺平成18年)

【活動報告】

1. 府SA連協「シルバー通信52号」（前年度報告、当年度計画）を、R4年6月発行、7月配布。
2. 高大機関誌「れいんぼー」に校友会員として寄稿する。
年2回・2022年9月・2023年1月。
3. 地区SAのPRチラシ更新随時行った。
4. 対外行事＝高大関連、ONCC関連、校友会関連、会員募集コロナ禍で対外活動中止。
5. 新SAあり方委員会広報グループ活動毎月1～2回ZOOM会議実施。下記アクションプラン設定。
 - ・実態調査から南ブロックの体制強化対策必要。新SA発足推進（富田林・岸和田地区）。
 - ・府民カレッジ松原校に代わり藤井寺校を設立計画。2024年度開校設定。藤井寺市教育委員会、市役所人権窓口、藤井寺社協・藤井寺市後援、教育委員会後援名義、年間通じての会場設定に動く。（期末大阪府民カレッジ企画変更）
6. 新会員確保の為の新パンフレット作成中。（7月発行8月配布予定）

4-2 ブログ研究部会

大橋 清 (大阪市SA平成27年)

【活動報告】

1. ブログを使って、府SA連協および各地区SAの日常活動をタイムリーに、ビジュアルに見やすく提供する事を目指した。
 - ・スキル向上を目指したが、コロナ禍（3密対策）の為、年間5回しか、開催出来なかった。
2. 開催に必要な「人、物、金」条件整わず休会に至る2023.4月。理事会報告済み「人=受講生3人、物=無料会場使えず、金=講師料負担が大きい」
- 3 地区SAブログ実施実態調査6年間での受講生教育が地区に反映されているか、募集しても人材の集まらない地区の、対策課題。実態調査結果フィードバック済み。

4-3 ホームページ管理部会

村松 秀明・大川 正彦

【活動報告】

*府SA連協の情報の交差点、広報としてのホームページを目指す。

- 1, 「地区の概要ホームページ」2021年度更新が、「新SAあり方委員会」推進事業の遅れも2021年2月～3月。11地区（協力のもと、完了）
- 2, 「広報トピックス」R4年度「コロナ禍」では有るが、活動が戻りアップ増加
- 3, アップ事例
 - ・渉外部=キッズパーク北御堂、第11回大阪マラソン。
 - ・交流活動部=ブロック交流会（おもちゃ）北、中、南
ブロック交流会（歌体操）北、中、南・その他、寝屋川フェスティバル、船場まつり、「ATC親と子どもおもちゃづくり」,府SA連協歌体操フェスタ。
 - ・広報部（本部）=歌体操スキルアップ研修（北ブロック・南ブロック）
コーダイ（ジョイフルゲーム）等の活動をアップする。

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会			
大阪府SA連絡協議会は、府内20地区の大阪府シルバーアドバイザーの団体です			
シルバーアドバイザーは、長年にわたり培った経験や知識、技術、特技を活かして、地域のボランティア仲間と友好な関係を保ちながら、地域福祉活動や様々なボランティア活動を行っています。			
まちづくり	子どもの健全育成	障がい者と高齢者の自立支援	自らの生きがいづくり
・大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会 理事長 村松 秀明 会員数 621名 ・事務局 〒540-0024 連絡先 大阪市中央区南新町1-3-11 高分子工学ビル303 電話 080-3040-6336 ・ホームページ http://sa-renkyo.sakura.ne.jp/ ・Eメール h.muramatsu1368@gmail.com 理事長のメール：E-MAIL	大阪府SA連協・地区SAパンフレット New!		
	大阪市SA SA藤井寺 SA松原会 SA寝屋川 いずみSA	SA高槻 SA茨木 SAいけだ SA大東 堺 SA	SAとよなか SA吹田 New! SA交野 SA守口 SAひらかた
シルバー通信 New! 52号 30周年記念特集号		New! 広報トピックス	

2022年度大阪府SA連協会計決算報告

期間(2022年4月1日～2023年3月31日)

収入の部				
科目	2021年度実績	2022年度予算	2022年度実績	備考
前年度繰越	337,383	217,052	217,052	
会費	122,200	116,000	122,800	200円×614人
利息	2	2	2	
事業収益	6,269	100,000	0	イベント事業収益
助成金 1	0	0	0	大阪ガス福祉財団
助成金 2	50,000	50,000	0	大阪労働者福祉財団
助成金 3	0	30,000	0	大阪府高齢者大学校
ATC おもちゃイベント	0	100,000	180,000	ATC イベント
広報誌広告収入	30,000	30,000	30,000	エール
雑収入	81,516	30,000	34,400	ブログ部会費・他
収入合計	627,370	673,054	584,254	
支出の部				
活動費	36,000	36,000	33,000	理事・役員交通費
会費	3,000	3,000	0	SA ネット大阪
事務費	87,442	50,000	56,350	会場費、コピー代他
歌体操	101,200	80,000	21,371	歌体操フェスタ
歌体操	40,000	40,000	40,000	研修費・交流会補助
おもちゃ	30,000	30,000	30,000	研修費・交流会補助
ブログ・ホームページ	36,081	54,000	37,391	
健康管理部	10,000	10,000	10,000	研修費・交流会補助
シルバー通信	37,107	37,000	33,120	
PR 資料他	0	10,000	2,000	
おもちゃイベント経費	0	100,000	93,098	
予備費	29,488	30,000	7,080	講演会謝礼・他
支出合計	410,318	480,000	363,410	
繰越金	217,052	193,054	220,844	
合計	627,370	673,054	584,254	

村松秀明理事長殿

以上の通り今年度の会計決算を報告します。

令和5年3月31日

事務局長 中島英征

会 計 下川順夫

会計監査報告書

上記、会計に関する帳簿、証拠書類、現金等につき厳正に監査致しました。

その結果、適正に的確に処理され正確であることを証し、ここに報告します。

令和5年4月1日

会計監査 泉川渥洋

◆2023年度活動計画◆

・2023年度役員体制

役 職	氏 名	所 属
理事長	村松 秀明	SA ネット大阪
副理事長兼渉外部長	松木 健一	大阪市
副理事長兼交流活動部長	上山 乃婦子	堺
副理事長兼広報部長	大川 正彦	藤井寺
副理事長兼福祉部長兼書記	竹内 周次	大阪市
事務局長兼国際交流部会長	手塚 之博	吹田
特命担当部長	小川 忠夫	吹田
健康管理部会長	笠原 俊生	大阪市
会計	下川 順夫	高槻
書記（役員会）	中島 英征	茨木
幹事・歌体操部会長	藤川 安高	吹田
幹事・おもちゃ部会長	榊本 邦子	池田
会計監査	泉川 渥洋	府民カレッジ理事長



2023年度役員



2023年度理事会メンバー懇親会

◆令和5年度活動方針◆

(2023年4月1日～2024年3月31日)

◆1-活動方針◆

理事長 村松 秀明 (大阪市SA 平成29年)

(1) 今年度の活動方針は「飽くなき追求」として3つの事を求めていきたい。

①最適活動の追求

---地区SAが元気になれば府SA連協も元気になる。---

・地区での活動の活発化

少ない人数で活動している地区も楽しく立派な活動をされており、一概に多くの人数を求めるものではないが、様々な活動を実施していくにあたり活動者の人数の最適化を求めていく。

- ・他地区の成功事例のノウハウの共有化で最適活動人数を実現する。
- ・地区毎事例発表の場づくりでモデル地区以外の活動ノウハウを共有化する。
- ・活動内容の多角化をはかる。活動者を増やし、その中から取りまとめの人を作っていく。

②社会貢献活動の意義追求

- ・現状の我々の活動内容の棚卸をして社会から求められる事、我々が求める物との整合性を取っていく。
- ・新たに「福祉部」を立ち上げ我々シニアができる福祉活動に取り組む。
- ・活動内容の公開を積極的に行い、府民市民の共感が得られるようにする。
- ・生涯学習校との結びつきを強め、お互いの目的を理解しあい共通する目標に向かって共に

活

動する。またSA資格取得者に対し共に社会貢献活動へ取り組む事をはたらきかける。

- ・大阪府に対してSA資格の活かし方の提言を行っていく。

③組織持続化資金の獲得方法の追求

- ・助成金情報の共有化をはかり資金獲得に努め活動に活かす。
- ・地区との結びつきを強め社会貢献活動に対する寄付を積極的に募る。
- ・イベント等の受託事業を積極的に取り込む。また地域の企業との結びつきを強化し協賛の働きかけを実施する。
- ・コラボで活動できる関係団体との交流を積極化し自団体の組織強化をはかる。

・定例役員会・理事会の運営は従来通り以下の通り開催

地区SA発表会及び講演会	毎月1回 原則第1木曜日 13:00～13:50 開催
理事会	毎月1回 原則第1木曜日 14:00～15:00 開催
役員会	毎月1回 理事会日 10:30～12:00 開催
ブロック交流会	年6回 偶数月の理事会の日 15:00 開催
各部門会	年6回 奇数月の理事会の日 15:00 開催

◆◆各部門・部会の活動計画◆◆

◆2-渉外部◆

松木 健一 (大阪市SA 平成30年)

2 渉外部

【活動目的】

3年続いたコロナ禍もようやく終息の段階に入った。各SAとも活動が活発化すると思われるが、それぞれのノウハウを共有化する手立てを考えていきたい。
また活動の方針にある「活動の多角化」を見据え組織の在り方の検討も必要となる。

【活動計画】

- ・各SAのノウハウの共有化のための事例発表の場づくり
- ・生涯学習校との結びつきを強め、SA資格取得者へ働きかけ会員増加につなげる。
- ・改革等の各種プロジェクトについてZoom等を活用しスピードを上げ成果に結びつくよう働きかける。
- ・助成金情報の共有化、協賛金等の獲得のための「ファンド部」の設立。

《参加行事及び活動》

- 1, コーダイ・ONCC・区民・府民カレッジのSA認定授与式
- 2, コーダイフェスタ・ONCCふれあい交流祭・府民カレッジ祭りなどへの参加
- 3, 高大各クラスへのSA認知活動
- 4, 大阪マラソンへのボランティア参加取りまとめる。
- 5, 行政との良好な関係を維持しSA活動の認知度を上げると同時に情報収集に努める。

2-1 健康管理部会

笠原俊生 (大阪市SA 平成30年)

【活動目的】

2025年問題として超高齢化社会の進行に伴い「健康寿命の延伸」をめざして、更なる予防意識の啓発普及を図るために、フレイル予防講座と子ども向け食育講演の出前講座の開催を積極的におこないたいと考えております。併せて、元気なシニアのSA会員募集活動に寄与していきたいと思っております。

【活動計画】

- ① フレイル予防啓発で健康寿命の延伸を普及
 - ・NPO 法人大阪府民カレッジ・大阪区民カレッジ・認定NPO 法人大阪府北部コミュニティカレッジ (ONCC)・地区SA・各種団体等へ出前講座を通じて予防啓発の普及に努めます
- ② フレイルサポーター (講師) の活動能力のレベルアップ
 - ・講師の増員養成で活動の領域を拓げる。
 - ・フレイルサポーターの相互研鑽のため、他の団体の講演会を受講する。
- ③ 外部団体の関係機関との連携と広報啓発活動
 - ・他の団体のイベントに出展参加して、健康寿命延伸に繋がる広報啓発に努める。
 - ・大阪府高齢介護室との連携に努め、健康啓発情報の収集を図る。
 - ・健康関連団体との連携を深め、健康に関する啓発情報を得る。

〔活動予定期日〕

開催先		開催期日（予定）			2023年3月現在		
1	ONCC	9/21 ぶらっと散策					1
2	区民カレッジ	10/2、1/22 北校	R6：1/15 西校・中央校 住之江住吉校	R6：2/19 東成校			5
3	府民カレッジ	10/3 大東学研都市校	豊能校				1
4	第48回とよなか 市民健康展へ出展	10/8 (6回目)	豊中市立文化芸術センター				
5	熊取町食育講演	9月予定	「早寝早起き朝ごはん」				

※〔活動予算の申請額〕・10,000円（啓発普及の教材・広報媒体物作成の一部）

2-2 国際交流部会

手塚 之博（SA吹田 平成29年）

【活動目的】

国籍を超え、様々な文化の理解を通して多文化共生社会の実現を図る。
今後日本に於いて益々グローバル化が進み、多くの外国人と共に生きていくという現実の中で、異文化理解は必要不可欠。活動をする事で、共に助け合い、支え合って生きていく社会をつくる一助にしたいと考える。

【活動計画】

現在活動を行なっている SA ネット大阪、SA 吹田の活動を他の地区 SA にも広げていく提案を行なう。具体的には大阪府在住の留学生との交流活動を通しての多文化交流活動、海外で日本語を学ぶ若者達とのオンライン交流活動等、日本語での交流活動を進めていく。

◆3-交流活動部◆

上山 乃婦子（堺 SA 平成20年）

3-交流活動部

【活動目的】

交流活動部の組織力を強化し、歌体操、おもちゃの活動を通じて各地区 SA との交流の活性化を目指す。

【活動計画】

1. 歌体操部会、おもちゃ部会は毎月定期的に部会と研修会を実施し、情報交換と技術の向上を図る。
2. 歌体操部会、おもちゃ部会は年一回各ブロック（北、中、南）交流会を実施する。
3. SA 全体のイベントとして「府 SA 連協歌体操フェスタ 2023」を実施する。
4. 関連団体の行事等に参加する。

3-1. 歌体操部会

藤川 安高 (SA吹田 19年)

【活動目的】

部会と研修実技を通じて、各地区 SA の情報の共有化と技術向上、普及、および親睦を図る。

【活動計画】

※部会員；26名 (中ブロック：10名、南ブロック：7名、北ブロック：9名) (2023年度)

1. 部会の実施

毎月1回 年間12回 第4月曜日 AM10:00~12:00

会議と実技の研修を行う。

会場：大阪生涯学習センター (大阪駅前第2ビル5F)

2. 各ブロック (北、中、南) 交流会を実施

地域親睦と交流を図るため年1回担当地区持ち回りで行う。

3. 府SA連協[歌体操フェスタ2023]の実施

大阪府下の歌体操の仲間が集まって楽しいイベントを3月に行う。

4. SA関連団体のイベントなどに部会として積極的に参加する。

3-2 おもちゃ部会

梶本 邦子 (SA池田 22年)

【活動目的】

各地区 SA の情報を共有し活性化を図る、また技術の向上を目指す。

【活動計画】

1. おもちゃ部会の実施-1

・時期：隔月1回 偶数月の第2火曜日 PM 1:30~3:30

・会場：大阪府中央区民センター

・運営：ブロック (南、中、北) ごとに代表1名を選出し、役員を依頼する。

・講師：ブロック (南、中、北) ごとに講師を依頼する。

*講師を新しい方をお願いすることによって、新講師の発掘と養成をする。

2. おもちゃ部会の実施-2

・会費 1回 200円 徴収

・年1回各ブロック (北・中・南) 交流会の実施

・部会員の活動の実践場所を広げ、イベントなどに積極的に参加する。

◆4-福祉部◆

竹内 周次 (大阪市 SA 令和4年)

4-1 福祉部会

福祉部は、2021年、府SA連協「新SAあり方委員会」から2021年ビジョン委員会での検討、役員会理事会を経て、社会貢献活動を追求する中でこのほど福祉部を立ち上げることになりました。現状交流活動部のやっていることが充分福祉的意味合いのある中で、敢えて福祉部を立ち上げる事になったのは福祉活動のウイングを広げ、様々な福祉活動に対する社会の要請に対して当団体としても応えていこうとするものです。

【活動目的】

大阪府における地域福祉にかかるボランティア活動を通じて、地域社会に貢献する。

【活動計画】

1. 会員に福祉に関するボランティア活動一覧（＝ニーズ）を示し、大阪府副首都構想が期待するシニア像（経験の伝承、地域での社会貢献）も考慮し、府SAに現在所属する我々自身の知識、経験、興味、体調等から活動可能性を棚卸しする。
2. 上記棚卸を踏まえ、人的資源、資金面等考慮し、活動方法、時期等検討し、まずはできるところから（無理せず）ボランティア活動を始める。また、活動に合った体制も模索する。
3. 適宜PDC Aを回しながらよりよい福祉部活動を目指す。
4. 行政や諸団体の関係者と調整することがあれば、渉外部等と連携して調整する。

◆5-広報部◆

大川 正彦（SA藤井寺 平成18年）

5-広報部**【活動目的】**

1. 府SA連協と地区SAの架け橋となる広報活動を目指す。
2. 地域でのSA活動の知名度（認知度）の向上を目指す。
3. 関係団体との関係強化のツールとなる広報を目指す。
4. ホームページ、ブログなどネットでの広域活動、助成金情報などの共有化を目指す。
5. 引き続き「新SAあり方委員会」広報部取り組み課題を推進する。

【活動計画】

1. 高大内3F、常設新パンフレットスタンドのメンテを当番制で維持し、受講生向けのSA連協パンフレットや地区SAのチラシを広報配布する。
2. 新ありかた委員会の積み残し課題を整理推進する。
3. 広報誌部会下記
4. ホームページ部会下記
5. ブログ研究部会下記
6. 2021年府SA連協「新SAあり方委員会」プロジェクト課題検証

5-1 広報誌部会

大川 正彦（SA藤井寺 平成18年）

【活動目的】

1. 情報誌・PRチラシ等の文書情報での情報発信を行う。
2. SAファンづくり（情報誌・PRチラシ等）で会員募集確保を行う。
3. 情報誌・パンフレット・PRチラシ等で地区SAの活性化、先進活動の共有化を行う。

【活動計画】

1. 府SA連協・シルバー通信 53号（前年度報告、当年度計画）を発行、全会員に配布する。
（年1回配布7月予定）。
2. 高大機関誌「れいんぼー」に校友会会員として寄稿する年1回(1月)。
3. 府SA連協のPRパンフレットのR5年度版作成、地区SAのチラシ（更新随時）等のツールを使い高大関連行事・ONCC関連行事・校友会関連行事等で募集活動に利用。

4. 「新SAあり方委員会」プロジェクトの積み残し課題を整理推進

- ・有償ボランティア（厚労省個人歓迎）ポイント制度引き続き推進・藤井寺市に府民カレッジ設立懸案事項継続

5-2 ブログ研究部会

大橋 清（大阪市SA平成1年）

【活動目的】

- 1.各地区SAがブログを使って、日常活動および情報をタイムリーに、ビジュアルに、見やすく提供する（府SA連協情報含む）そのためのスキル向上を目指す。

【活動計画】

- 1.各地区のブログ要員の拡大、普及とスキル習得のための施策 3~4人では「人、物、金」の運営難しく、5年間の人材育成の結果の実態調査をし、現在休会も、同好会組織での「人、物、金」の、構想検討する。
- 2.各地区の現状分析、「A 毎月更新地区 B 更新が止まっている地区 C ブログ担当者がいない地区」Aブロック、Bブロック、Cブロック地区分けの当初計画は一巡。人的確保が難しい地区SAが残り、見直しの時期が来ている。「同好会組織」（IT同期同窓会）の、検討を行う。

5-3 ホームページ管理部会

村松 秀明・大川 正彦

【活動目的】

- 1.府SA連協の情報の交差点としてのホームページを目指し、ホームページの、企画、維持管理に努める。

【活動計画】

- 1.SA連協、各地区概要ホームページ更新、2022年度（11地区）。2023年度もフォーマット作成しより多く推進する。退会、入会地区の更新を行う。
 - 2.府SA連協HP「広報トピックス」コーナ、各部門・渉外・交流活動・広報の継続スキルアップ各部門に原稿依頼回収編集後アップする
 - 3.SA連協ホームページアクセスが年間通じ20%と低調続いて居るので実態調査アンケートを行うも、回答の無い地区SAもあり現状実態が不透明。
 - 4.各地区SAの依頼原稿（原稿変更時）に基づいて、地区SAのホームページを更新する。
 - 6.地区SAの活性化、先進活動に理事会での講演会のフィードバック、助成金情報、共有化・活性化に寄与する。
- 例、ブロック交流行事（歌体操・おもちゃづくり）・本部行事（歌体操フェスタ・ATC親子おもちゃづくり）各部門に原稿を依頼し広報が纏めアップする。
- 7.ホームページ更新のIDやパスワード等の管理は複数人で保管するものとし、管理者については、理事長及び部門長と部門長に委託を受けた者とする。（引継要綱）
 - 8.2021年「新ありかた委員会」ストーリー、プロセスを整理しホームページにアップする。

2023年度大阪府SA連協会計予算

期間（2023年4月1日～2024年3月31日）

科目	2022年実績	2023年予算	備考
収入の部			
前年度繰越	217,052	220,844	
会費	122,800	122,800	200円×614人
利息	2	2	
事業収益	0	10,000	イベント事業収益
助成金	0	50,000	大阪労働者福祉財団
ATC おもちゃイベント	180,000	180,000	ATCイベント
広報誌広告収入	30,000	60,000	
雑収入	34,400	30,000	
収入合計	584,254	673,646	
支出の部			
活動費	33,000	33,000	理事・役員交通費
事務費	56,350	50,000	会場費、コピー代他
歌体操	21,371	80,000	歌体操フェスタ補助金
歌体操	40,000	40,000	研修費＋交流会補助
おもちゃ	30,000	30,000	研修費＋交流会補助
ブログ・ホームページ	37,391	26,000	
健康管理部	10,000	10,000	
シルバー通信	33,120	35,000	
PR資料他	2,000	20,000	PRチラシ他
おもちゃイベント経費	93,098	100,000	ATC・他
予備費	7,080	20,000	講演会謝礼・他
支出合計	363,410	444,000	
繰越金	220,844	229,646	
合計	584,254	673,646	



令和5年大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会理事

2023年4月1日～2024年3月31日

	地区名称	氏名	役職	入会年
1	SAネット大阪	村松 秀明	理事長	29年
2		小林 英行	理事	R2年
3	大阪市SA連協	笠原 俊生	事務局次長兼健康管理部会長	30年
4		竹内 周次	副理事長兼福祉部長	R4年
5		松木 健一	副理事長兼渉外部長	30年
6	SAいけだ	榊本 邦子	おもちゃ部会長	22年
7		栗谷美智子	理事	29年
8	SA吹田	小川 忠夫	特命担当部長	18年
9		手塚 之博	事務局長	29年
10		藤川 安高	歌体操部会長	19年
11	SA茨木	中島 英征	理事・地区会長	19年
12	SA高槻	下川 順夫	会計	17年
13	SA守口	島田 道子	理事・地区会長	14年
14	SAひらかた	子川 智康	理事・地区会長	15年
15	SA四條畷	塩野 孝子	理事・地区会長	21年
16	SA交野連絡会	田中 暁子	理事・地区会長	12年
17	SA大東の会	野口 紀子	理事・地区会長	18年
18	SA東大阪	片山 憲一	理事・地区会長	31年
19	SA八尾・柏原	二葉 登代子	理事	15年
20	SAはびきの	松田 嘉威	理事・地区会長	19年
21	SA藤井寺	大川 正彦	副理事長兼広報部長	18年
22	SA河内長野	元坂 道幸	理事・地区会長	10年
23	堺SA連絡協議会	上山 乃婦子	副理事長兼交流活動部長	20年
24	いずみSA	百々トミ子	理事・地区会長	23年
25	SA似顔絵友の会	笹本 尚裕	理事・友の会会長	R5年
合計		25名		
		泉川 渥洋	監事	

編集後記 コロナ禍一段落「ウィズコロナ」（感染防止と経済活動）の時代に入った！

府SA連協地区SAにも施設訪問解除の声が聞こえる。これを継起に對外チャレンジを！
ネット大阪、府民カレッジ、区民カレッジとの共生は増々課題となって来た。

地区会員の「高齢化による自然減」は続く。2025年には世界一の超高齢社会、社会保障を支えるボランティアが必要な時期、後継者育成は「大きな課題」又新人確保は「高齢化による自然減」の中「大きな対策」となっている。府SA連協の新しい新しいパンフレット作成したが、府民カレッジ、区民カレッジから活用したいとの要望、カレッジの講習後の配布も定着、又大阪府介護支援課地域支援グループからもボランティア支援、府下関連組織に配布したいと追加注文有り、嬉しい頼りが続いた。ピンチをチャンスに・・・

シルバー通信 53号をお届けします。

広報部 M,O

特別寄付募集中

インド最貧の地にウォーターポンプ設置を!

未だに川の水を生活用水としている地域で、
少しでも清潔な水を届けようとしています。

1口1万円

8口で1基設置できます

8口寄付の方の芳名を大理石プレートに刻ませていただきます。

寄付金振込先

三井住友銀行 大阪西支店 O443

口座番号 7028984

特定非営利活動法人 ニランジャナセワサンガ



特定非営利活動法人 ニランジャナセワサンガ

〒大阪府中央区船場中央1-3-2-302

大阪市コミュニティ協会内

団体ホームページ <https://sewasanga.jp/>

\\ "ニランジャナセワサンガ"で検索 //



niranjana sewasanga

もめない相続 元気な今こそできる準備

様々な情報が行き交う長寿時代。

自分に適した「終活」を早いうちから準備される方が多い時代になりました。

まずはご自身の関心事を簡単に確認してみましょう！

はい

将来、資産を引き継ぎたい
子ども（親族）がいる

いいえ



体力が衰えた時に備えて
あらかじめ子どもに任せて
おきたい財産がある



はい→①

いいえ→②

10年～20年後の生活や、
もしもの時の葬儀や納骨を
考えると少し不安だ



はい→③

いいえ→④

① 家族信託

一部の不動産、預貯金、有価証券は、家族信託が有効な対策になります。制度の詳細やご自身の家族に活用できるか是非詳しく聞いてみましょう！

③ 任意後見人

安心のシニアライフを支える専門家、「任意後見人」の選び方と、介護や認知症でかかる費用を詳しく聞いてみましょう！

② 円満相続の計算とシミュレーション

もめない相続のために、円満相続の計算とシミュレーション、エンディングノートや遺言制度の有効な使い方を、早めに確認しておきましょう！

④ 老後資金

意外と知らないシニアライフに必要なお金の話。何にどんなお金がかかる？老後資金の考え方、詳しく聞いてみませんか？

特典

1

家族信託と後見制度の使い分け診断

短時間のヒアリングで必要な対策を簡易診断できます！

※ご希望の方には詳しいご説明もさせていただきます

特典

2

60分の無料相談

この広告からお申込みの方限定です！

※身体的ご事情等で、外出が難しい方は出張相談

特典1と特典2の
お申込みはこちら

0120-744-743

平日 9:00～18:00（土日祝休み）担当：太田まで

特典をご希望の方はお伝えください



杠(ゆずりは)グループ 杠司法書士法人／司法書士法人ゆずりは後見センター

本町オフィス 大阪市中央区久太郎町2-5-28 久太郎町恒和ビル4F（大阪メトロ「本町」・「堺筋本町駅」徒歩3分）

八尾オフィス 大阪府八尾市本町2-12-4（近鉄大阪線「近鉄八尾」駅徒歩9分）

夙川オフィス 兵庫県西宮市寿町1-24 ローズハイツ夙川2F（阪急神戸線「夙川」駅徒歩6分）

御所南オフィス 京都市中京区東洞院通夷川上る三本木五丁目501-2（京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅徒歩3分）

ゆずりは後見センター 大阪市中央区南本町1-2-6 フィオレビル（大阪メトロ「本町」・「堺筋本町駅」徒歩2分）